



特集

平成29年度春季集落座談会 ご意見・ご要望について

▲吹越・真壁地1・2地区

3月9日～15日までの5日間、管内45会場で春季集落座談会を開催しました。今回の座談会では、平成30年度経営計画や平成30年産米の取組みなどについて説明しました。今回の特集では、出席していただいた290人の組合員の皆さまから、貴重なご意見・ご要望をいただき、その主な内容についておつなぎいたします。なお、重複している内容については、集約させていただきましたので、あらかじめご了承ください。

協議事項1

平成30年度経営計画のめやす(案)について

Q JAの自己改革に「農業所得の増大」とあるが、増大に繋がる戦略について教えて下さい。また、メリットについても具体的に教えて下さい。

A 水田転作に青果物等を推進し複合経営を促進してまいります。また、白神青果物産地拡大補助金(拡大部分に2万円/10a)を活用していただき面積拡大に努めます。平成30年度からは新規作付拡大助成(3万円/10a)を設け、農業所得増大にも努めてまいります。

営農資材では、生産コスト削減に向けた取り組みとして、予約注文書へ肥料特別価格銘柄、超目玉商品の設定と農薬では、大型規格農薬、目玉商品、超大型規格農薬(4〜5ha)を設定しながら生産資材コスト削減を目指しております。

Q 高密度播種苗について情報提供をお願いします。また、高密度播種苗の技術はどうなっているのでしょうか。

A 高密度播種苗(密苗、密播)については、作付け面積の増加に伴う育苗ハウ